

海外安全対策情報（2023年1月～3月期）

1 治安情勢・犯罪の傾向

（1）全体

西豪州全体における総犯罪発生件数は73,514件。パース首都圏では54,100件であり、西豪州全体における首都圏の割合は73.6%となっています。

前年同期比は、西豪州全体が+21.9%、パース首都圏が+23.5%と大幅に増加しており、前期（2022年10月～12月期）比でも、それぞれ+5.2%、+7.4%となっています。

特に、コロナ禍以降、急激に増加した観光客がスリや置き引きなどの被害に遭う例が増加している模様です。西豪州警察によれば、一般犯罪は予め計画されたものではなく、機会に便乗した犯罪が多くなっているとのことです。

（2）主な犯罪発生件数内訳

	発生件数	前年同期比
（ア）西豪州全体	73,514件	+21.9%
殺人	18件	+26.7%
性犯罪	1,145件	+20.9%
家庭内暴行	7,114件	+13.4%
家庭外暴行	4,224件	+26.2%
窃盗	21,396件	+29.3%
薬物犯罪	5,573件	+26.2%
詐欺関連	9,097件	+27.8%
（イ）パース首都圏	54,100件	+23.5%
殺人	15件	+114.3%
性犯罪	828件	+17.1%
家庭内暴行	3,864件	+13.6%
家庭外暴行	2,908件	+27.1%
窃盗	18,064件	+31.7%
薬物犯罪	3,662件	+14.7%
詐欺関連	8,075件	+20.7%

（3）項目別

ア 窃盗

総犯罪件数の約3割を占める窃盗関連事件は、西豪州全体で21,396件。財布などの貴重品の管理には細心の注意を払い、基本的防犯対策を講じることが重要です。

特に海外から西豪州を訪問する人は観光地や首都圏はもちろん、郊外においてもスリ、置き引きに十分注意してください。

また、窃盗関連事件のうち、自動車に関連する窃盗（車上荒らし）がおよそ25%を占めていることから、外出先などでは駐車場所に注意するとともに、車両から離れる場合にはごく短時間であっても施錠するなどの対策が必要です。

イ 詐欺

大半がクレジットカードに関連するもので、依然として増加の傾向となっています。西豪州警察は、銀行口座の暗証番号等の管理の徹底はもちろんのこと、定期的な使用履歴の確認が不正利用の早期発見につながるとして注意を呼びかけています。また、新型コロナウイルスに関連する詐欺事件も報告されており、不用意に個人情報や電話口等で提供することのないよう注意する必要があります。

2 邦人被害事案

観光地の比較的人通りの多い駐車場で、昼間であるにもかかわらず車上荒らしに遭いパスポート等を盗まれた事案や、本報告の期間外ですが、4月にパース市内（SUPREME COURT GARDEN）で、男性が複数の男性に囲まれ暴行を受け怪我を負い金品を奪われた事案が報告されています。

基本的な防犯対策を怠らないようにした上で、万が一の時にどのように対応すべきかを日頃から想定しておく事が大切です。今一度、以下の点にご留意ください。

- ・外出時は付近に不審な人物や車両がないか確認するよう心がけて下さい。
- ・夜間は可能な限り単独ではなく複数人で移動・行動するようにしてください。特に歩きながらのスマホ操作やイヤホン等の利用は犯罪者に狙われやすくなりますのでご注意ください。
- ・貴重品等の携行は必要最小限にしてください。また、車の中の見えるところにカバン等を放置しないでください。

もし事件・事故に遭遇し、緊急に救助等が必要な場合には、緊急電話番号「000」にダイヤルしてください。事案に応じて警察、消防、救急に転送されます。

3 テロ・爆弾事件発生状況

報告されていません。

豪州政府が公表しているテロ警戒レベルは、全体で5段階のうち、上から3番目の「起こる可能性がある（Probable）」であり、脅威度は東海岸の都市に比べても低いとみられていますが、近年はテロの発生を予測し未然に防ぐことがますます困難となっていますので、テロはどこでも起こり得ることを念頭に置き、日々情報収集に努めることが重要です。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

報告されていません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業にとって安全面で脅威になる問題は認められていません。

（了）